

前回部会における委員の主な御意見

5月15日（水）の第1回環境審議会資源循環部会における各委員からの御意見は下記のとおり
（資料の質問に対する事務局説明等は割愛）【五十音順】。

1 濃沼委員

○意見 1

うまく市民の皆さんが意見を出せるような仕組みを考えていただきたい。もう少し意見のくみ取り方はあってもいい。こういう方向に決めますと言った時に、大勢の人から意見をもらって、それをまた審議会に戻すぐらいの意見が出てくることを期待している。

2 寺園部会長

○意見 1

プラスチック資源一括回収では大臣認定ルートも活用するとのことで、プラスチックへのリチウムイオン電池の混入には気をつけなければいけない。また、加熱式たばこモバイルバッテリーは、理想として回収ルートをもう少し目立つようにしてほしい。

○意見 2

部会をできればもう少し開かれた形にしたい。市民目線でこういう情報が欲しい、足りないというところと市側の情報提供ができるだけ寄り添うような形でやってほしい。部会の傍聴のアナウンス等、色々な方法を検討してほしい。

意見のくみ取り方も、もう少しあってもいい。傍聴にとどまらず、市民と一緒に作っていくイメージが少しでもできたらと思う。

3 篠倉委員

○意見 1

広報紙等を読んでいる方だが、プラスチック資源の収集対象区だと勘違いしていた。川崎区の方は認識していない方もいる可能性もあるため、広報はしっかりしてほしい。

4 徳野委員

○意見 1

市で取り組んでいる一時多量ごみ制度やジモティーの活用等も意外と知られていない。市からの広報をさらに強めてほしい。

5 森川委員

○意見 1

プラスチック一括回収の取り組みはいいことなので、今後の動きについて早めに審議会に情報提供してほしい。